



# REINANZAKA SCOUT CLUB



2026年  
5月1日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3  
<http://reinzaka-sc-trp4tokyo.jp>



No. 6 5

## 「創立時のスカウト、神のみもとに」 東京港第1団名誉団委員長 杉原 正



東京第4隊（東京港第1団）の創設時のスカウト・荒垣恒英さん（愛称・ガキさん）が2024年9月（享年92才）に居住されていたニューヨークで逝かれたことがご子息からの連絡で分かりました。

ガキさんは、教会の日曜学校中等科のメンバーで今田富士雄、稲瀬東洋志、金海洋一、小崎忠雄、坂本光一、志水功、少し遅れて参加の飯田貞雄さんと同学年でした。ひとり区外の世田谷・成城から小田急線、井の頭線、都電で1時間半かけての参加でしたが、とても楽しかったと後で話されていました。



（荒垣恒英兄：左から2番目）

発隊当初は2ケ班（ワシ班、ライオン班）でスタート。ガキさんはライオン班の初代班長に選ばれています。またロープワーク（縄むすび）の名手でラリーなどの大会でいつも優勝し、他の追従を許さない存在で種類の多さと時間の速さに圧倒されました。

1951年1月、前記の年長者によって年長班が誕生。子羊班（ラム班）と命名され、小崎兄が班長、書記にガキさんが就任します。ラム班の様々な活動の中で志水兄を中心にした音楽活動が注目されます。ガキさんは隊の機関紙「スマイル」に“子羊班、益々躍進す”のタイトルでの寄稿が残っています。

1953年9月、今田兄が第4代隊長に就任、ガキさんは副長の一人として指導に当たられた。その後にシニア年代の活動として「シースカウト」が導入され、今後のスカウト活動全体について話し合いが茅ヶ崎にある小崎家の別宅で若いリーダーが集まり熱く語り合ったことは忘れることはできません。

1957年9月、慶応大学を卒業されていたガキさんはペンシルベニア大学院に留学することになり、横浜港に私と同期の遠山兼宏、長澤進宣兄らと共に見送り、航海の無事と大学院修了を心から祈ったことも思い出として残っています。

時を経て1997年5月、ボーイスカウトアメリカ連盟の全国総会がオークランドで開催され、お招きを受けて出席した後、ニューヨークに寄り、2日間ガキさんにお世話になりました。

ガキさんは大学院修了後に企業を経て米国で起業、当時はまだ排日感情が残るなか仕事をする上でご苦労が多かったと伺いました。その中で頑張れたのは、霊南坂教会でスカウトの創設を強く奨め、自ら隊のスポンサーとして支えたM・ウィリアムスさんとの出会い。自分の米国でのスカウト活動の経験とその楽しさを伝えてくれたこと、また“Once a Scout, always a Scout”の言葉を良く用い、草創期のスカウトに大きな影響を及ぼしてくれたことへの感謝でした。

温厚で柔和なガキさんはまさに「永遠のスカウト」に相応しい先輩でした。

長い間のご厚情、本当にありがとうございました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

※Two steps to Happiness  
are; Taking life as a game  
and giving out Love.  
……Rovering to Success……



ベーデン・パウエル卿の言葉

幸せへの二つの道は、人生をゲームとし、惜しみなく愛することである。

※2016年10/29「ニュースレター第50号」  
荒垣兄巻頭掲載同文

## ボーイスカウト・ガールスカウトの活動

### (ボーイスカウト)

デンリーダー 山菅 祐一郎

1月10日にカブ隊の餅つきをしました。事前にカブスカウト達が話し合い、どのような味にするかを決めました。磯部、きなこ、あんこ、味噌の4種類にしました。味噌味は島貫君の提案で、初めて作りましたがとても美味しかったです。カブスカウト達は、みんな一生懸命に餅をついてくれました。団委員と教会の皆さんに少しですが、おすそ分けをすることもできました。来年はどんな味を作ってくれるのか、楽しみです！

うさぎ 佐々木 新

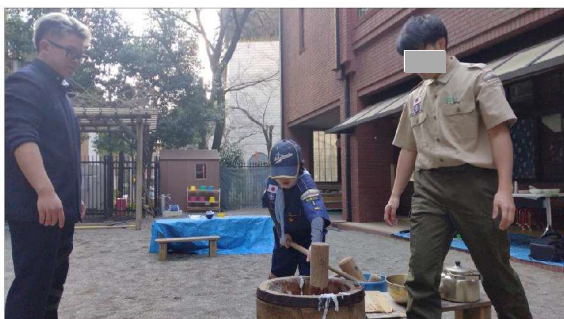
もちつきは、ぺったん、ぺったんと、去年より上手につくことができました。大好きなあんこのもちを10こ食べました。けい太くんがずっとくだもの食べていたのが気になって、ぼくもみかんを食べました。あまくておいしかったです。

うさぎ 島貫 隆太郎

もちつきでいろいろなもちを食べておいしかったです。みかんも食べれておいしかったです。もちをつくのもたのしかったし、できたてはおいしかったです。しょうゆときなこがおいしかったです。

うさぎ ラム エリオット

ぼくは、おもちをつくったとき、とっても食べたくなりました。そして、食べたとき、とてもおいしかったので、5かいぐらいおかわりをしました。どうしてかという、列から人をぬかしたいぐらいおいしかったからです。らい年も、楽しみにしています。



### (ガールスカウト)

「ブラウニーでの思い出とこれから」長尾 咲良

私は、保育園の年長の時から四年間、ガールスカウトの活動を続けてきました。このたび、大好きなブラウニー部門をそつぎようし、四月からはジュニア部門に進むことになりました。ふりかえてみると、たくさんの思い出があります。一番心に残っているのは、毎年夏のキャンプです。スカウトのお友だちと協力してすごす中で、自分一人では作ることができない「幸せ」があることに気づきました。みんなで力を合わせるチームワークの大切さを知るとともに、自分のやくめをはたすことで、新しい自分を見つけることができたと思います。

また、ミッドタウンでの緑の募金活動では、自分の行動が社会や世界の役に立っていることを感じて、とてもうれしくなりました。募金をしてくれた方々へのありがとうの気持ちをわすれずにいたい。冬のクリスマスページェントでは、役をえんじること、イエス様が生まれた時のお話を知ることができました。ブラウニーの仲間と一緒にげきをやりとげた時、みんなへのかんしゃの気持ちでいっぱいになり、私も困っている人のために役に立ちたいと強く思いました。いろいろな活動を通して、霊南坂教会についても学ぶことができました。教会は、いろいろな人の心が休まる場所であり、大切なところなんだと分かりました。去年の夏休みに椿先生からお話をうかがった時、教会の活動はたくさんの人の「だれかの役に立ちたい」というやさしい気持ちや、だれかのために一生けんめいつくす心で支えられていることを知りました。それはとてもありがたいことだと思い、心にのこりました。同時に、いつも私たちのめんどろを見てくれるリーダーの方々のことを思い、自分たちスカウトの活動がどれだけ多くの人たちに支えられているのかに気づきました。四月からのジュニア部門では、もっと人を助けることができる自分になりたいです。たくさんの人の笑顔が見たいです。そのために、いろいろなことを学び、じゅんぴをしていこうと思います。私の通っている学校には「世の光となろう」という教えがあります。いつか、自分の仕事を通してだれかに喜んでもらえるような大人になれるよう、一生けんめい取り組みたいです。そして、とくいな英語を生かして、いつか外国のスカウトたちとも仲良くなり、世界中にたくさんの笑顔を広げていきたいです。ジュニアでの新しい活動がいまから楽しみです。



ブラウニー  
春行事  
キッズニア

「4団の思い出」

ジュニア部門 4年 時澤 美月・花凛

わたしは小学1年生のときからガールスカウトに入り、たくさんの思い出を作ってきました。はじめはきんちょうしていましたが、活動が続けるうちに友だちもふえ、楽しく集会に参加できるようになりました。クリスマス会では、みんなでプレゼント交換をしました。何が当たるのかドキドキしながら待つ時間や、友だちと笑い合ったことが、とても心にのこっています。夏キャンプでは、はじめて外のテントでねました。夜はこわかつ

たけれど、友だちと声をかけ合いながらすごしました。カヌーに乗ったり、みんなで食べたソフトクリームはとてもおいしくて、今でもわすれられません。春キャンプでは、ブラウニーのときに劇団四季を見に行き、ジュニアでは日光へ行きました。どちらもふだんできない体験で、とても楽しかったです。こんど、引っこしでみんなとおわかれすることになり、とてもさびしいです。でも、ガールスカウトで学んだことや楽しかった思い出を大切に、新しい場所でもがんばりたいと思います。



ジュニア  
春キャンプ  
日光東照宮

### 「1年間シニア部門のリーダーをして考えたこと」 シニア部門リーダー 堀内沙那

私は小学2年生の時にガールスカウトに入団し、昨年度からリーダーとして活動しています。1年目である昨年度は、シニア部門のリーダーを担当しました。スカウトとして活動した11年間は、学校ではできない様々な経験をしたり、特別な友達ができたりと、とても充実した時間でした。そのような友達と同じ部門で活動できなくなることや、コロナ禍による経験値の低さから、リーダーになることにはワクワクと同時に不安も感じていました。

10年以上スカウトとしてリーダーの行動を見てきたに関わらず、実際に前に立ってまとめたり指示を出したりすることは、初めはわからない点も多く、難しく感じました。また、中学生であるシニア部門では、スカウトが自ら考えることを大切にしつつ、リーダーがアドバイスをする必要があり、集会内容を考える際も試行錯誤しました。それでも先輩リーダーの方々が優しく教えてください、リーダー養成講習会に参加したり、ヤングリーダーで企画して研修キャンプを実施したりしたことにより、技術面・精神面ともに成長できた1年だったと感じています。また、昨年度は初めてシンガポールで行われた海外派遣にも参加しました。世界中の同年代の人と交流し、議論するという経験は、ガールスカウトをやっていなければできない経験だと思います。リーダーになって、スカウト時代には得られなかった多くの経験をすることができたと同時に、ガールスカウトの魅力が改めて実感する場面がいくつもありました。ブラウニーからここまで続けてきて本当に良かったと思います。そして、今の年少スカウトにも長く続けて欲しいと感じました。

まだまだ至らない点もありますが、今年度からは不足している部分を自ら吸収していくとともに、自分にできることを考え、より主体的に行動していきたいです。その結果、スカウトにとって1つの居場所となり、スカウト活動の魅力を感じてもらえるような集会やキャンプを企画していきます。



シニア 春キャンプ  
東武ワールドスクエア

「わたしとガールスカウトレンジャー」3年 東 嬉乃  
ガールスカウトを振り返って、ここは自分を成長させてくれる大切な居場所であったと考えています。私は小学1年生から始めたスカウト活動が大好きで、毎週の活動を楽しみにしていました。私は挑戦する事や自然を感じる事、人の助けになれる事が大好きで、これらの性格はスカウト活動を通して育まれたものだと感じています。

また、活動の中で出会う仲間たちも、挑戦する事を楽しみ、自然を大切に、また互いを尊重し合える人が多いと感じています。そのような人たちと活動することで多くの刺激を受け、そこに楽しさを感じ、団や団を超えた活動に積極的に参加してきました。

12年間のスカウト活動を通して得たものは数え切れませんが、何よりの宝物はそんな仲間との出会いだと考えています。これからもこの経験と仲間を大切に、リーダーとしてスカウトたちと共に成長し、ロールモデルとなれる存在になりたいです。



レンジャー  
春キャンプ  
日光・鬼怒川

### 「感謝を持って」 団員委員長 古谷 久代

4団のガールスカウト数は60名強、リーダー他含めると100名を超えるようになりました。土曜日の午後の教会には、スカウトの明るい声が響いています。

多くのスカウトが与えられていることに感謝すると共に、リーダーたちには気を引き締めて集会するように促してきました。多くの人が「集う」ということは、「見逃す」ことも出てくるからです。一人一人のスカウトを大切に、安全な集会をすることです。

縄結びなどのスカウティングの基本だけでなく、大学の授業や仕事で得た、役に立つ知識を活かしてリーダーたちは集会をしてくれています。

その範囲は、音楽、美術、医療、社会活動など広範囲にわたっています。また、リーダーやスカウトの家族、OG・OBも協力してくださるので、より多くの知識と力が集まり活動が続けられています。

私は、2025年度を持って団委員長を備後さんへとバトンタッチいたします。副団委員長の鈴木（充）さんと共に二人三脚で団運営と対外的な仕事をしていくことになっています。60周年の祝会の際に「団委員長に」と突然指名されてから19年が経ってしまいました。この二人は、この間もずっと私を支えてくれたリーダーでもあります。団の活動方針をよく理解してくれています。皆様どうぞこれからの4団の歩みをこれまで以上に支えてください。

今までのご協力を感謝すると共に、今後も4団をよろしくお願ひいたします。

## スカウトクラブ 会員のお便り

### 「むかしの、むかしの五代隊長」 友常 明子



<スカウト歴>  
1958～1964：カブ隊デンマザー  
1970：カブ隊々長



(スカウトと共に)

私は、今は横浜に住んでいますが、昔、私の家は赤坂にありました。霊南坂教会とTBSの山との中間にある氷川小学校のそばに住んでいましたので、TBSのテレビ塔がグングンと高いところまで造られていく様子を窓から見ていたものです。ある時、出来上がった塔に大きな五月の鯉のぼりが取り付けせれましたが、強い風にあおられ真横に泳いでちぎられ、あっという間に飛んでいってしまいました。見た目にも大きい鯉のぼりでしたから、あれが空に泳いでいった姿を見た人は驚いたでしょうね。

日曜日になると私は、霊南坂教会の初等科に毎週通い始めました。母の日のカーネーションを胸にさしたり、クリスマスの夜にはクリスマスソングを歌いながら近所の街角で歌ったりもしました。そのうち学生時代にボーイスカウトのカブ年令のスカウト活動にデンマザーとしてお声がかかりました。当時の隊長は杉原隊長でしたが、声が大きくておしゃれ、新人の私達デンマザーをよく指導して下さいました。何しろ敬礼のやり方も知りませんし、キャンプに行ってもウロウロするばかり。でもデンチーフも良く教えてくれました。今は、デンマザーは“ほんとうの”お母様がお手伝いなさっているようですが、当時は”若い”私達でしたので自分達がスカウティングを学ぶといったようでした。その後は各自仕事についたり結婚したりで、スカウト活動とは縁がなくなった方もいましたか、私はとびとびのリーダーでしたが、隊長になり仕事と両立して大いに楽しみました。



上左から：私、リッチィ昌子（萩原）さん  
下左から：高島（渡辺）・西木（新崎）・持地さん

全団が行進を終えたところ、段上にあらわれた司会者の方が「今大変なニュースが飛び込んできました。」と全員に向かって告げました。その音声が同時に聞こえるようになった。正にそのTV回線の初使用の日だったのです。まだ、映像は入ってこない時代「ケネディー大統領の暗殺」事件のニュースでした。それから、数年後の大きなニュースは人類初の月面到着日です。その日、私はカブ隊の隊長として伊東市の川奈にあるユースホステルを全館貸し切りキャンプ二泊三日の行事が始まりました。

開会のセレモニーを行うと言う正にその時刻にTVでアナウンサーが「ただ今まさに人類初の足跡が月につけられる瞬間です」と言う声が食堂の方から聞こえて来たので各自の荷物を置いたらすぐに食堂に集合の声をかけました。プーン、プーンと月面を歩く二人の宇宙飛行士の姿に皆でバンザイを叫びました。

振り返りますと、スカウト活動について何も知らない私を、先輩リーダー、デンチーフに支えられ、私の方がスカウト活動をしているようでした。

その頃のスカウトも、きっと60代ですね。ほんのちょっとしたご縁で入ったスカウトでしたが、実にさまざまな事を教えられました。

どんな場面でも、何とかしようと前向きに生きる知恵は、きっとその頃の経験がいきているのだと感謝しています。

以前、横浜の港ちかくで、活動しているスカウトの一团を見た時、懐かしい風景にすっかり見とれました。

これからもまた、新しい一歩を踏み出す港第一団の未来に、弥栄のエールを送ります。



## 「無形の贈り物」



＜スカウト歴＞  
1966年ブラウニー入団。リーダーは西郷崇子さん、黒部峰子さん他。  
1972年または73年ガールスカウト退団

はじめに、私が霊南坂教会スカウトであった短い歴史を書かせていただきます。1962年7月、2歳10ヶ月の私は7つ年上の兄が参加したカブスカウトキャンプ（伊東）に同行。この写真は翌月の8月3日から8日まで、静岡県御殿場市で開催された第3回日本ジャンボリーにも行った時のもので、昔から私のお気に入りです。〔写真2〕



（写真2：アジアジャンボリー）

ネットで検索すると、このアジアジャンボリーには国内外から26,000人が参加し、国籍、人種、宗教の違いを超えた国際親善の教育の場として、11の野営地区を舞台に繰り広げられたボーイスカウトの祭典であったと出てきました。

その頃から兄に連れられて霊南坂教会学校に通っていました。小学生になりブラウニーに入団したのは自然な流れだったでしょう。入団式の日、礼拝堂地下のホールで小さなイスに並んで座り、両手を器のように組んだところへ、西郷崇子リーダーと黒部峰子リーダーが「これからその中に大切な贈り物を入れますよ」と順番に廻って来られました。いただいたのは空気だけで、（内心「やっぱり…」と）ちょっとがっかりしたことを覚えています。けれども60年を経た今、その無形の贈り物は後になって、いろいろな恵みのかたちを取って与えられてきたことに思い至ります。

ブラウニーとして過ごした日々、覚えているのは教会のホールや隣接する幼稚園の園庭を駆け回りよく遊んだこと。そのお転婆ぶりに周囲はきっと顔をしかめておられたことと思います。〔写真3〕



（写真3：ブラウニー）

## 今井 奈緒子

品川のスケートリンクで生まれて初めてスケート靴を履いたその日に、ボーイスカウトの内藤正樹リーダーが両手でリードしてくださり、氷上を滑った感激は忘れません。ガールスカウトに進級してからは、合唱祭に参加したり、憧れの先輩とピアノ連弾で発表会に出た記憶があります。けれども中学生になると学校が（その頃習い始めたオルガンのせいかも知れませんが）忙しくなり、ロープ結びや手旗信号の実習も中途半端なまま、退団してしまいました。

スカウトソングは、ボーイのもガールのもよく歌っていたので今でも親しみがありません。印象に残る思い出の一つが、カリブ海の島国トリニダード・トバゴから、ガールスカウトの親善訪問を受けたことです。島のかたちを象ったピンバッジをプレゼントされました。以来この国の名を忘れることはなく、先口開催された冬季オリンピックでも、最少人数で入場する選手団に声援を送りました。

こうして幼少期からスカウトに親しんだ背後には、いつも母の存在がありました。左の2枚の写真も、母が愛用していたローライのカメラで写し、アルバムに残してくれたものです。彼女は子供たちのスカウト活動を見守る傍ら、いつしかリーダーの方々と親交を持たせていただくようになりました。永橋牧子さんもそのお一人です。お誘いを受けて、ガールスカウト日本連盟が主催する国際交流の旅に度々参加し、「サンガム友の会日本」の協力員でした。元々貿易を営む父の相棒として渡航経験の豊富な人でしたが、私の手元に遺されたスタディツアーの記録や沢山の写真から、母が家業とは別のチャンネルを通して、世界の様々な地域に目を開かれていた事を知りました。

私は現在、霊南坂教会のオルガニスト・オルガン主任を務めています。これまでスカウトサンデーや霊南坂スカウト節目の記念礼拝で、奏楽をさせていただきました。2027年5月8日の80周年も楽しみです。中退スカウトではありますが、「そなえよつねに」の精神はずっと持ち続けています。母の分まで感謝を込めて、オルガンを奏でたいと思います。



# 霊南坂スカウトクラブ 告知板

## 「昔のスカウト活動についての説明」 (目的)

BS/GS 80周年を次年度に控え、本年は昔のBS/GS活動を知り今後のプログラムに活かしたい旨のご依頼がGSシニアからありました。SCは趣旨に賛同し説明会に臨みました。

### (目次)

- ・自己紹介
  - ・昔のBS活動例
  - ・30周年行事：企画運営と結果
  - ・今後の新スカウト活動提案：5案
- ### (説明メモ)
- ・霊南坂教会に於けるスカウト活動は野外活動を先生に、日本と世界を楽しく知る、その為に野外スキルを磨き、ソング、踊り、遊び、マナー、奉仕、自主・協調性を今昔今後も学ぶ活動と思えます。
  - ・リーダーになって得られる事は多いです。是非リーダーになって下さい：**従属→自主へ**
  - ・様々なイベントがあります。是非参加者から当時者(企画・運営・後処理)になって下さい：**参加者→当時者へ**
  - ・特に質問はありませんでしたが理解して頂いたと思います。

### (内容)：SC 渡辺スカウト例として

- 1958～1961：カブ：杉原隊長
  - ・舎営、ハイキング、赤い羽根募金、ソング1(愚か者)、キャンプファイヤ/バザー/クリスマス/餅つき/スカウトサンデー(CBCMS)、記念式典参加、映画会
  - ・ワシントンハイツ(代々木公園) USカブと交流→初めて食べたHOT DOGはgood!：隊長支払(ドル/円?)
- 1961～1964：BS：飯田隊長
  - ・野営、昼/夜ハイキング、赤い羽根募金、CBCMS
  - ・火起し/調理、木組みロープワーク、地図/コンパス：現在位置/読み方
  - ・救急法、手旗/モールス信号：通信、ソング2(むこうのお山)
  - ・首相官邸訪問：池田首相にご挨拶
  - ・記念式、バスピック、映画会
- 1966～1968：シニア：日下部隊長
  - ・移動・固定・雪中(計画)キャンプ、昼/夜ハイキング、秋津療育園奉仕、CBCMS、ソング3(みつのちかい) 記念式典、バスピック

- ・映画会、スケート、フォークソングライブ：森山良子さん
- 1972～1978：シニア：副長/隊長
  - ・移動・固定・雪中・ワークキャンプ
  - ・記念式典、バスピック、スケート、CBCMS、ソング4(山中の森)

- ソング1～4を皆さんと唱和。その後私なりの意義を説明しました。
- ソング1：野営は水辺 NG
- 〃 2：ハイキングで 黒雲・涼しい風が来たら 夕立・雷→避難
- 〃 3：そなえよ常に →常に綿密な計画準備をする。それでも予想外が起きます→臨機応変の対応
- 〃 4：ある会で歌手の方を前に歌いました。はもって大拍手!でした



(カブ：秩父のユースホステル)



(BS：首相官邸訪問：池田首相)



(シニア：北海道別海町：志水さんご親戚：牧場ワークキャンプ)



(2026/03/07：昔のスカウト活動についての説明)

## 【スカウト催事予定】

- バザー：9/26(土) 10:30～15時
- SC会報66号発送：12/初
- スカウトクリスマス礼拝：12/12(土)
- 餅つき：2027年1月/中
- スカウトサンデー：2月21日(日) 10:15～
- BS/GS80周年記念式典：2027年5月8日

## 【霊南坂スカウトクラブ役員】

会長	西郷崇子
副会長	田中新二
会計	白井純一
総務	高玉 大
書記	檜垣君子、
通信	西谷芳美
	小田島典子
会報・団	矢澤宏子
会報	渡辺 博
	小宮 忠紀
H.P	白井純一
教会・団	向殿和弘
	ボーイスカウト団委員長
	古谷久代
	ガールスカウト団委員長
監査	五十野和男

## 会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。毎年の納入をお願いいたします。

年会費：3000円/年

家族会員：2000円/年

入会金：1000円/入会時のみ

## 振込先「ゆうちょ銀行」

00170-4-765234

他行からの振込みの場合は下記宛てにお願い致します。

銀行名：ゆうちょ銀行

店名(店番)：ゼロイチキューウ(019)

預金種目：当座

口座番号：0765234

口座名称：霊南坂スカウトクラブ

## 【召天者】

※64号本欄で、ご子息の大槻将嗣様を掲載してしまいました。誠に申し訳ありませんでした。お詫びを申し上げますと共に再発防止を致します。

大槻将嗣(誤) → 大槻敬太郎(正)